

2017年1月号 vol. 50 (2017年1月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価 (Ver.6) 認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
善峯寺・縁起ものの南天 (京都市西京区)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会



新年のご挨拶



千春会病院 院長 藤原 仁史

新しい年を迎え、千春会病院ならびに千春会グループの職員一同を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。

さて、平成28年の診療報酬改定では、「地域包括ケアシステム」の更なる推進と入院病床に関する医療機能の分化・強化が促され、多職種連携によるチーム医療と在宅医療の評価がなされました。来る平成30年の医療・介護報酬同時改定では、「在宅復帰率等の指標以外にも、医療・介護サービスの成果が問われ、すなわちアウトカムが要求されていく方向性」が示されると言われており、提供する「サービスの質の改善」が益々重視される時代となります。

本年も千春会は法人理念に則り、良質な医療・介護サービスを総合的に提供し、地域に貢献して参りたいと考えています。

許可病床60床の当院では現在、7:1の看護基準の病棟の中に、「地域包括ケア病床」を届出しておりますが、昨年8月にはこれまでの12床から24床へと増床致しました。急性期の治療に引き続いて在宅復帰を目指す方々にリハビリテーションを積極的に行い、回復期病床機能を十分に発揮すると同時に、多職種協働のもとで早期の在宅生活の準備ができるように努めてまいります。

また「強化型在宅支援病院」として、退院後の在宅生活支援にも力を入れ、「訪問診療」のみならず、「訪問看護」「訪問リハビリ」「訪問栄養指導」「訪問服薬指導・服薬管理」を行い、在宅生活の一助として更に充実させる所存です。終末期、看取りの診療についても、訪問看護ステーションとも協力してしっかりと対応する中、昨年度は13例の在宅看取りの実績でした。

乙訓地域の中での「緩和医療機能」もこれまでと同様に果たして参ります。千春会ハイパーサーミアクリニック（JR長岡京駅前）での「ガン温熱療法」は2台の治療機器を設置し診療にあたっています。更に、千春会病院での難治性腹水の治療である「KM-CART（腹膜濾過濃縮再静注療法）」については、実施件数としては

国内2番目の実績であり、多くのガン患者さんが遠方から来院されています。

このクリニックでは日中は「ガン温熱療法」を行い、その診療時間後の時間帯に軽症小児救急患者さんを対象とした「小児科外来」（受付時間/平日19:00～21:00、土曜13:30～17:30）を開設しています。平成25年10月以来、近隣の小児科外来が終わった後の時間帯に、京都市内の基幹病院からベテラン小児科専門医の協力を得て診療を開始して、はや4年目に入りました。入院などの高度医療が必要という場合の後送体制も整えており、乙訓地域の子供を抱える親御さんたちの安心を少しでも確保し、小児救急体制への貢献ができるよう診療を継続しています。

介護の分野では、昨年9月に新しく京都市中京区の2つの介護事業所の事業継承を致しました。この「千春会居宅介護支援事業所のぞみ」、「せんしゅんかい訪問介護センターのぞみ」は、千春会にとって初めての京都市内の事業所です。本年3月、伏見区桃山と五郎町に「介護老人保健施設 桃山（仮称）」を、新規開設致します。老健の本来の機能である「在宅復帰支援施設」としての役割を十分果たせるよう、リハビリ療法士や管理栄養士、歯科衛生士等の多職種スタッフを充実させて、鋭意準備中です。施設の1階には一般の方々も利用可能な「地域交流フロア」を設け、多世代交流の場として利用いただけます。老健運営にあたりましては、伏見区医師会、行政並びに地域の方々からのご意見、ご協力も得ながら丁寧に行って参ります。

千春会は、人口減少・高齢社会を考える中で、菊地孝三理事長の掲げる『医療と介護の融合』を合言葉に、医療・介護の全職員が一丸となって、必要とされる「地域包括ケアシステム」の構築とその実行・運営の一翼となるべく、精進して参ります。

今年の千春会も、どうぞよろしく願い申し上げます。

平成29年 春

いよいよオープン!(予定)

京都市 伏見区に

地域の「在宅生活支援施設」を目指して

介護老人保健施設 桃山 (仮称)



今春、いよいよ「介護老人保健施設 桃山」がオープンします。「老健施設」はもちろん「デイケア」「デイサービス」「ショートステイ」も併設した大規模な施設となっています。さらに地域の方々もご利用いただける喫茶スペースやオープンデッキを有した「地域交流フロア」を設けるなど、多世代交流の場づくりも目指しています。

4・3F

在宅復帰フロア

介護老人保健施設 100床

全室個室 (トイレ・洗面所付)

プライバシーやライフスタイルに配慮した環境。専門職による在宅復帰を目指した生活リハビリを中心に提供します。

2F

在宅継続フロア

デイケア 100名

短時間リハビリ (午前3時間・午後3時間)

明るく広いスペースで、専門職 (PT、OT、ST等)による、機能訓練に特化したリハビリを提供します。

デイサービス 30名

様々なレクリエーションや入浴などで、日常生活を支援。専門職 (PT、OT、ST等)を配置。介護度の高い方や認知症の方のご利用にも対応できます。

ショートステイ 13床

別途 緊急受入用居室:1室

全室個室 (トイレ・洗面所付)

落ち着いた環境の中、くつろげる場を提供。介護者負担の軽減にもご利用下さい。

1F

地域交流フロア

喫茶スペース/オープンデッキ



喫茶スペース

地域の方にも気軽にお越しいただける、「多世代交流の場」を目指します。

最終工程に入りつつある工事も、安全を第一として急ピッチで進行しており、内部の備品などの調整を含め、間近に迫るオープンに向け、準備が着々と進んでおります。



中から見た外の景色



屋上庭園に向けて

地域リハビリの拠点をめざします

介護老人保健施設 桃山 京阪桃山南口 徒歩5分

〒612-8025 京都市伏見区桃山与五郎町 1-589

お問い合わせ 開設準備室 ☎ 075-953-2712



これからの医療・看護・介護の在り方を学ぶ

千春会では、医療、介護の現状や最新情報をしっかりと理解し、将来を見据えながら地域の皆さまに貢献すべく、日々、法人全体で研鑽を重ねています。

今年も、慶應義塾大学大学院 田中 滋 名誉教授、元 厚生労働省老健局長、岡山大学客員教授 宮島 俊彦先生をお招きして、国が目指す「地域包括ケアシステム」への構築に向けた講演会を。さらに医療の知識向上として、要 第2クリニック院長 松崎 圭祐 先生の講演会などを開催いたしました。

また、長岡京市長 中小路 健吾氏、健康福祉部長 池田裕子氏にもご出席いただくなど、地域と共に考える講演会となりました。

慶應義塾大学大学院 田中 滋 名誉教授

テーマ：「地域包括ケアシステム 今我々は何をなすべきか」

長年、日本の医療・介護政策に関わる提言をされるなど、大変幅広い見識をお持ちの田中名誉教授からは、国が目指す「地域包括ケアシステム」の構築に向け、さらに取り組むべき方向を様々な視点から具体的に解説していただきました。

初めに、高齢化が進む我が国の現状と、今後に向けて認識しておくべき視点を分かりやすく丁寧に解説をいただきました。

一般に要介護者の増加理由は「家族機能の低下」「高齢者の虚弱化」「提供体制の衰退」とされるが、実際には、「家族との同居高齢者数は増加」し「高齢者の体力・運動能力も上昇」「介護職員数も増加」という現状について、データで説明いただきました。その上で、国全体での危機意識についても言及されました。

さらに「地域包括ケアシステム」の構築にあたっては、構築のサブシステムである「住民」「提供者」「自治体」の役割を具体的に示していただきました。【住民】は、「フレイル予防」に着目し、一人一人が地域の支え手であることの認識や、食事や運動

など、自ら自立することの重要性を。また、【医療や介護の提供者】については、「自立支援」「多職種協働」「医療と介護の連携」

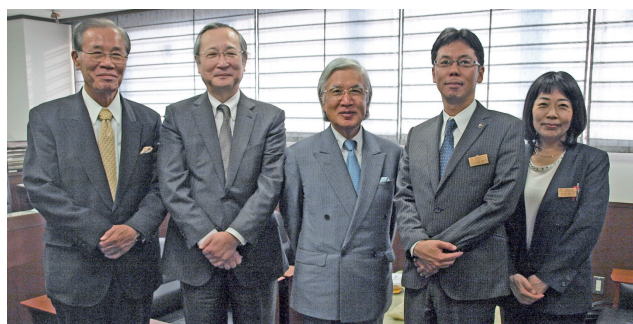


講演中の 田中 滋 名誉教授

「ニーズ型、地域づくりケアプランへの移行」などの方向性から、運営、経営といったマネジメント、地域での提供者ネットワークに到るまで、医療・介護を提供する者が今後取り組むべき課題の提示がありました。【自治体】においては、生活圈域ごとの課題と資源を把握するための担当部局設置や様々な機関との横串的な役割。地域住民の社会参加を促す仕組みづくりと、さらには経済界なども巻き込んでの「地域包括ケアシステム構築」への観点が重要であることなども大きく方向性を示していただきました。

「地域包括ケアシステム」の構築における「自立支援を理念とした圏域ごとの地域マネジメント」の重要性はもとより、千春会の方向性として合致したものと改めて確認させていただけた、有意義な講演会となりました。

千春会は、法人理念を「患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する」としており、行政、基幹病院、医師会、地域などと連携をさらに深め、皆さま方の在宅生活をしっかり支えるべく「地域包括ケアシステムの構築」に尽力してまいります。



(中央) 田中名誉教授、(中央右) 中小路市長
(右) 池田健康福祉部長、(中央左) 菊地理事長、(左) 小田理事

前 厚生労働省老健局長・岡山大学客員教授 宮島 俊彦 先生

テーマ：2018トリプル計画・ダブル改定への医療・介護の道筋

宮島先生は、東京大学ご卒業と同時に厚生労働省へ入省され、大臣官房審議官、官房統括審議官などを歴任され、2012年に退官されるまで老健局局長を務められ、その後も内閣官房社会保障改革担当室長などを歴任されるなど、国の医療・介護施策において重要な役割を担ってこられました。

今回は、「2018トリプル計画・ダブル改定への医療・介護の道筋」として、まずは大きくは日本経済、人口規模による都道府県事情などを解説いただき、さらに医療・介護の社会保障の大枠から、今後予定される大きな改正や新しい地域支援事業の全体像なども含め、次の社会保障改革に至るまで、最新かつ長期的な構造をご説明いただきました。次いで、2018年4月に予定されている第7次医療計画、第7期介護事業計画、医療費適正化計画と同時に改定される医療・介護報酬についての説明や市区町村ごとの地域ケアについてなど、平易に解説していただきました。

また平成29年度から本格的に開始される、新しい地域支援事業については、「介護予防・日常生活支援総合事業」ならびに「包括的支援事業」について、



講演中の宮島 俊彦先生

全国の先駆的な取り組み状況の紹介なども交えながら、主として「自立支援」「予防」という観点でご説明をいただきました。

今後については、訪問看護含め、在宅医療をどのように地域に張り巡らせるか、2018年に向け、市区町村での医療計画を様々に思考し、策定することが必要であること。その具体的な構想である「地域居住総合支援拠点」と「新型多機能サービス」についてもご教示いただき、同時改定に留まらない将来の方向性を、改めて認識させていただいた有意義な講演会となりました。

かなめ 要 第2クリニック院長 松崎 圭祐 先生

テーマ：腹水治療「KM-CART（腹水濾過濃縮再静注法）」

会場：JR長岡京駅前
生涯学習センター・バンビオ



講演中の松崎院長

大量の腹水を安全かつ迅速に治療する極めて有効な治療方法の一つである「腹水治療（腹水濾過濃縮再静注法）」の新方式『KM-CART』。その治療方式を開発された、松崎 圭祐 先生をお招きした講演会を開催しました。

当日は、診療所の先生方など43名の方々にご参加いただきました。

松崎先生からは、「KM-CART」の治療法について、多くのデータや症例などをお示しいただくなど、詳細なご説明をいただき、腹水の苦痛緩和のみならず、将来的には回収した腹水内のガン細胞を用いたガンの治療法を考えておられることも示唆されるなど、今後さらに期待の高まる治療法について学びました。

千春会病院では、この治療法を積極的に導入しており、ガン患者さんはじめ、腹水にお悩みの方々に「腹水外来」を設けております。

お気軽にご相談下さい

千春会病院 腹水外来 ☎ (075) 954-2175
担当医:内科 高垣 Drまで

介護複合施設 東向日

「地域感謝祭&介護相談会」開催

介護複合施設東向日（向日市寺戸）では、日頃お世話になっている地域の皆さんに感謝の気持ちを込め、介護相談会を含めた「地域感謝祭」を開催させていただきました。

当日は、利用者さまはじめ、地域の方々も多数来所され総勢約 100 名の方が楽しまれ、ご参加いただきました。ゲームコーナーやフランクフルト、焼きそばなどの軽食もご提供させていただき、ボランティアさんのハーモニカで歌を歌ったりと、楽しくご一緒させていただきました。介護相談会では小林ケアマネージャー、瀧本マネージャーが相談をお受けし、杖の長さの相談や花好きな利用者さまのお散歩に関する相談など内容は多岐にわたり、東向日の屋上庭園で楽しんでいただく話にも発展しました。



和やかな相談会

地域の方々、職員共に明るい笑顔があふれた、和やかな一日となりました。

千春会では、夏祭りや家族交流会、見学会などを通じて、できる限り地域の方々とのふれあいの機会をと考えております。日頃、施設を訪問する機会のない方も、気軽にお越しいただけるよう、これからもこのような交流会を開催してまいります。



地域の方々とともに

お知らせ

千春会の施設は、皆さまの集まりなどに

日曜日のご利用が可能です！

無料

町内会の各種集会、研修会、サークル活動などに日曜もぜひご利用下さい！



サークルや集会、打ち合わせなど、「日曜日に集まる場所がない」との声を受け、千春会の施設を日曜日にも活用していただけるようになりました。

「お仲間が集まる場所がない」「みんなで落ち着いて話ができる場がない」など、ちょっとした集まりに、地域交流スペースやデイサービスセンターを無料で開放しています。

詳細は下記の施設に直接お問い合わせください。

利用可能な施設	ご利用日	ご利用時間	お問い合わせ・お申し込み
介護老人保健施設 春風	日曜・平日	10時～16時	075-953-6301
介護複合施設 東向日	日曜・平日	10時～16時	075-924-5120
介護複合施設 上植野	日曜のみ	10時～16時	075-931-7000
介護複合施設 今里	日曜のみ	10時～16時	075-959-3350



かわいい中学生たちを医局、看護部、リハビリ科、放射線科、介護部で受け入れました。将来、医師や看護師、作業療法士等を目指したいと希望する生徒もあり、良い体験になったようです。これからも次代を担う子どもたちの育成に協力してまいります。



- ★ お年寄りの方と視線を合わせてみると話が弾むことがわかった。
- ★ 職員さんも高齢の方も朗らかで良かった
- ★ もっとこのような施設があればと思った。
- ★ ちょっとした気配りや優しさがいろいろな形で返ってくるのがわかった。
- ★ お年寄りと接することがないので楽しかった。
- ★ 器械運動をされていたり、よく動かれているので驚いた。
- ★ 一人でおられる方を皆で見えていく大切さを知った。



たくさんの感想が寄せられました



- ★ 病院には多くの部署があることを知った。
- ★ CT 像を見せてもらい普段体験できないことができた。
- ★ 患者さんを第一に考えておられた。
- ★ 患者さんの情報を皆さんが得て、一番に患者さんの事を考えているのがわかった。
- ★ 職員さんは、いつも清々しく笑顔で接しておられた。



多世代と ともに

ご報告

いつまでもお元気で！

祝！ 100歳おめでとうございます！

介護老人保健施設 春風では、ご利用者さま 2 名が「100 歳」を迎えられました。



100 歳の(肥後さん・浦田さん)とご家族さま
中小路市長(中央右)三沢所長(中央左)

お祝いには、長岡京市の中小路 健吾市長、乙訓保健所 三沢あき子所長が来訪され、お二人に表彰状と記念品が手渡されました。

生まれてまだ 2 か月という、ひ孫さんもお母さんに抱かれて、お祝いに来られ、100 歳と 2 か月を囲み、皆さんでお祝いのひと時を過ごしました。

これからもいつまでも、お元気で生き生きお過ごしください！



中小路市長(中央)・100 歳のお 2 人と
生後 2 ヶ月の巧翔くん

歳時記
1

おめでとう！みごと初優勝！
長岡京市の小規模多機能型居宅介護施設
合同運動会



「小規模多機能型居宅介護施設」の各事業所が一堂に会した秋の運動会が開催されました。

千春会の「あさつゆ」が、何と初出場で初優勝という快挙を！揃いの紫の鉢巻、Tシャツとチームワークも抜群です。どの種目も皆さん一生懸命頑張られ、見事、優勝！皆さんの代表



上野副主任(左)、理事長(中央)、利用者さまお2人(右)

お二人が、理事長へ報告にもお越しになりました。元気一杯、多くの方との楽しい交流に満ちた運動会になりました。



優勝！『あさつゆ』利用者のみなさん

歳時記
2

準優勝 おめでとう！
第10回 乙訓消火技術競技会

今年は見事、男子が準優勝となりました。きびきびとした動きに審査員の評価も高く、高得点を出した千春会。練習だけでなく、日々の防災意識が存分に



千春会自衛消防隊

発揮された結果です。法人施設には法定を超えるスプリンクラーが設置されていますが、「絶対に火事が出さない」と全職員が心がけ、日頃の防火活動につなげています。



歳時記
3

犯人検挙に協力
向日町警察署より表彰状授与
お見事！警備の福永さん

千春会病院の警備担当福永勝弘さん(株MK)が、女性の助けをを求める声を聞き、見ると男性を追いかける女性の姿が。その声に応じて追跡したところ「泥棒」とのこと。警察に通報し、携帯電話でやり取りしながら警察が駆けつけるまで追跡を継続し、見事犯人逮捕となりました。その功を讃えて向日町警察署にて、署長から表彰状が授与されました。

これからも千春会での警備が地域の防犯にも役立てればと思います。



表彰状を受ける警備 福永勝弘さん

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今号表紙は、新年にふさわしい、善峯寺の南天。赤は回除けの力で、「難を転ずる」に通じ、さらに葉は生葉という優れたもの。寺には樹齢600年以上の縁起よい「遊龍の松」も。

千春会も今年は、京都市内に大規模施設の開設となりますが、地域の皆さまを多方面から支援できるよう努めてまいります。南天のように様々な難を転じ、昇龍のように力強く…。(弘) 表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615